

シャティーラの記憶 パレスチナ難民の取材から みえてくるもの

川上泰徳氏 講演会

(中東ジャーナリスト、元朝日新聞記者・編集委員)

1956年生まれ。中東ジャーナリスト。元朝日新聞記者・編集委員。カイロ、エルサレム、バグダッドに特派員として駐在し、イラク戦争や「アラブの春」を取材。中東報道で2002年度ボーン・上田記念国際記者賞を受賞。現在はエジプトを拠点に取材活動を行なう。著書に『イラク零年』(朝日新聞社)、『イスラムを生きる人びと』(岩波書店)、『中東の現場を歩く』(合同出版)、『「イスラム国」はテロの元凶ではない グローバル・ジハードという幻想』(集英社新書)など。

70年以上の離散が続くパレスチナ難民の第1世代から現代の若者たちである第3・第4世代まで、100名以上にインタビューされた記録に基づき、4月後半には川上氏のご高著『シャティーラの記憶 パレスチナ難民キャンプの70年』(岩波書店)が刊行されました。この度はその刊行に際しまして、レバノンのサブラー・シャティーラー難民キャンプのお話など伺いする予定です。

日時:2019年5月19日(日)13:30~15:45(開場13:15)

場所: 一橋講堂 中会議室1・2 (東京都千代田区一ツ橋2-1-2)

【会場へのアクセス】 <http://www.hit-u.ac.jp/hall/accessjp.html>

東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅 (A8・A9 出口) 徒歩4分 / 東京メトロ東西線 竹橋駅 (1b 出口) 徒歩4分

■参加費:無料 / 事前予約:なし (当日は、直接会場にお越しください)

■講演会終了後、パレスチナ学生基金総会も開催します。ぜひご参加ください。

【パレスチナ学生基金2019年度総会】

日時:2019年5月19日(日)16:00~17:00 / 場所:同上

【お問い合わせ先】パレスチナ学生基金事務局: palestinescholarship_pub@tufs.ac.jp